

■施設配置

○バス乗降場配置

乗降場を方面別に集約し、乗降場26バス(予備3バス)をコンパクトに配置することで、利用者の利便性向上を図る。

○乗り換え利便性

2階及び地下1階にトランジットコンコースを設置し、コンコースを介して各乗降場への移動可能とし、利用者にわかりやすい動線を確認。

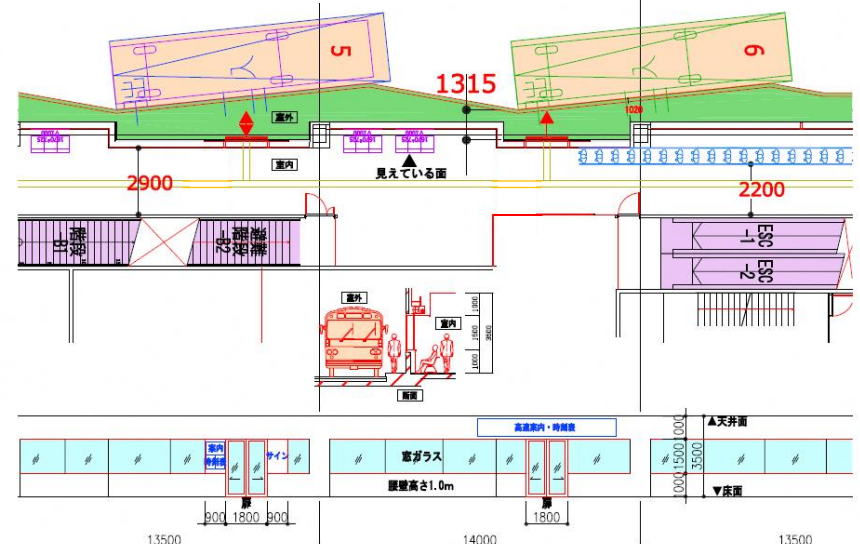
○快適性・バリアフリー

コンコースと各乗降場はエスカレーターやエレベーターによるバリアフリーの上下移動動線を確保するとともに、ホームドアを採用することで、快適で安全な利用環境を整備。

【イメージパース】



【ホームドアイメージ図】



■排気ガスへの対応方針

○十分な換気

ピーク時のバス通行量(272台/時間)とバス1台当たりのCO排出量(3.78g/km・台)を想定し、ターミナル法上のCO濃度基準(100ppm)以下にするために必要な換気量は約2,500m³/hであるのに対して、現在の設計値90,000m³/h(必要換気量の36倍)

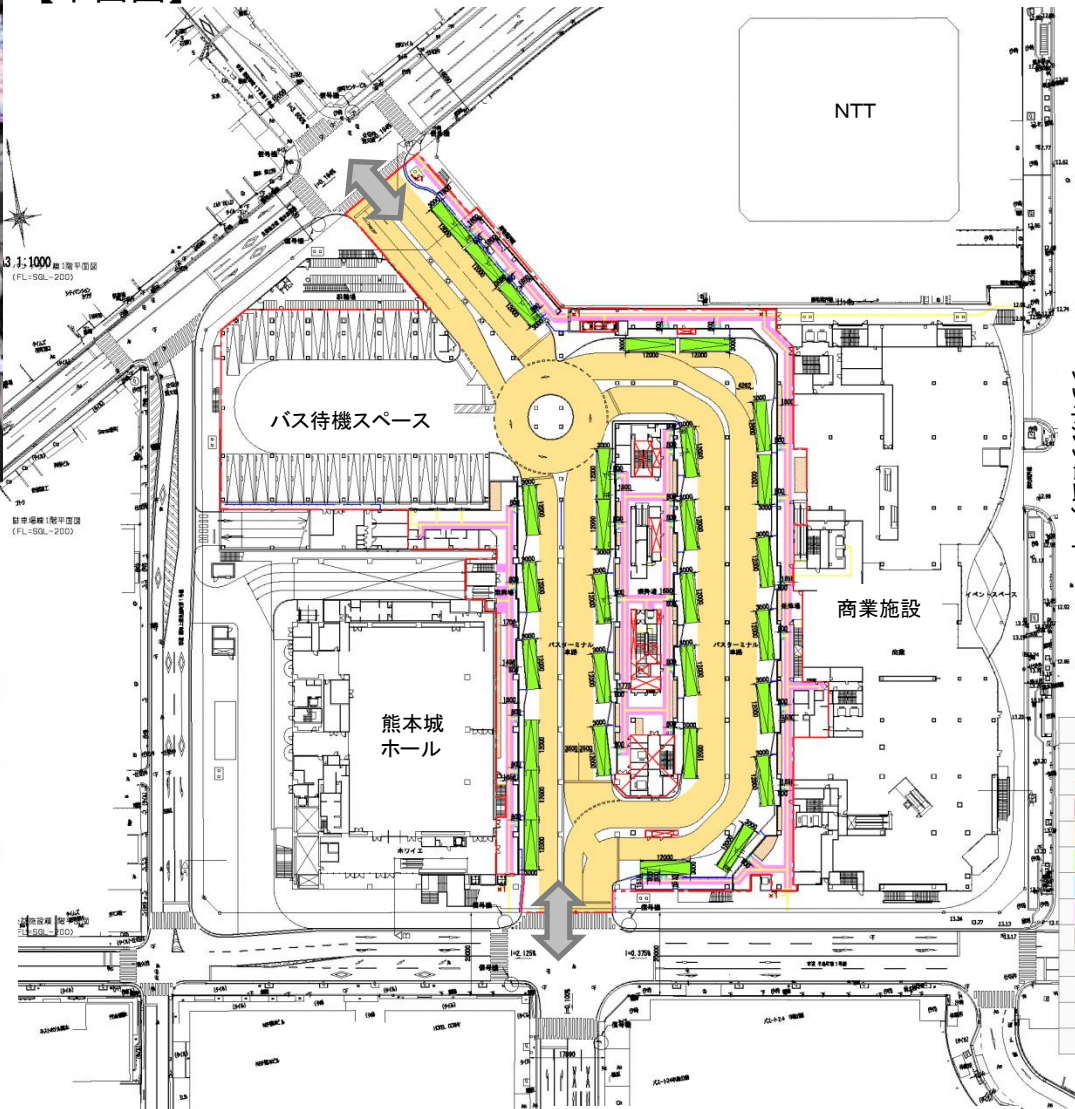
○換気量(圧力)の調整

ホームドアを設置し、各出入口から外へ風が出るよう(建物内が圧力が高くなるよう)排気ファン風量を調節

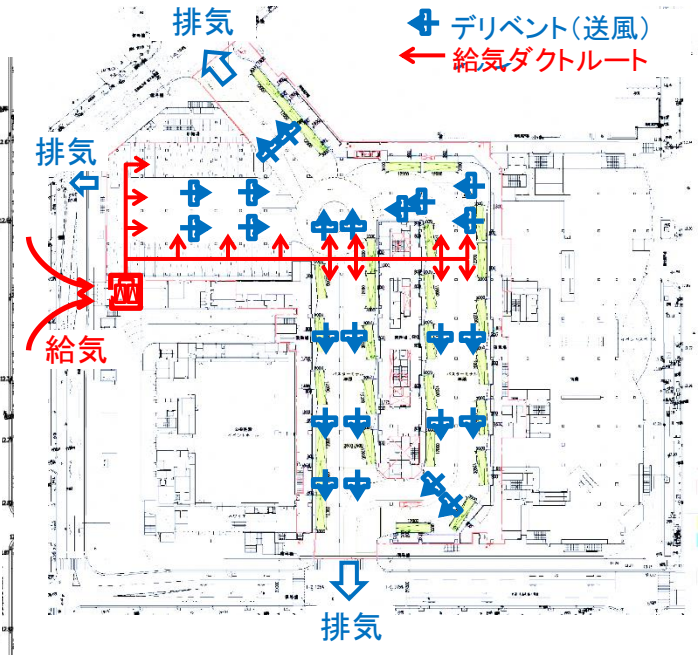
■整備スケジュール

平成31年8月 バスターミナル供用開始予定

【平面図】



【換気イメージ図】



記号	凡 例	備 考
(Red dashed line)	ターミナル法対象区域	
(Pink hatched)	ターミナル法除外区域	
(Green)	誘導車路	
(Light green)	停留場所 (29ヶ所, 予備含む)	
(Blue)	乗降場	
(Pink)	旅客通路	
(Light blue)	待合所	
(Blue arrow)	進入防止柵	
(Blue rectangle)	誘導ブロック	
(Blue rectangle)	ベンチ	
(x1)	総合案内板 (旅客施設の構造及び主要な設備、点字表示)	

※乗場配置については、現在協議中